

## はじめに

立地適正化計画は、都市計画マスタープランの高度化版として、大きな課題となっている、少子高齢化による人口減少時代に対応するまちづくりを推進するため、市街化区域内に居住や都市の生活を支える機能を誘導することにより、コンパクトなまちづくりと地域交通との連携による都市づくりを進めていく計画です。

国においては、平成26年8月に都市再生特別措置法の改正により、この「立地適正化計画」が制度化されました。



このたびの「下野市立地適正化計画」は、本市の都市計画およびコンパクトシティ化に向けた事業や施策を進めるうえで必要となる、目標や基本方針を定めるものです。

今後の下野市のまちづくりを進めるうえでの課題に対応しながら、本市が目指す将来都市像「快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり」の実現に向け、都市計画マスタープランで位置づけたJR3駅を中心としたコンパクトシティの形成や、これまで進めてきたまちづくりの取組の、一層の充実を目指すとともに、「3つの市街地が連携するネットワーク型コンパクトシティの形成」を理念に掲げました。

今後は、この計画に基づき、市民と行政が一丸となった“オール下野”のもと、本市のまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の改定に際し、貴重なご意見・ご提言をいただきました多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

平成31年3月

下野市長

広瀬 寿雄